

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

富山県 滑川市立早月中学校

活動名：

子どもの自信を育てよう

～起業体験学習で自己肯定感 UP～

解決すべき課題：本校では、平成30年度全国学力学習状況調査の質問紙調査において、「自分にはよいところがあると思う」と答えた生徒は70パーセントで、この数値は、県の平均より11ポイントを下回った。また、「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」生徒は、67パーセントで、14ポイント低い。本校の生徒は、素直な生徒が多いと感じる反面、周囲の反応を気にするあまり、授業中の発言や行動に控えめな面が見られる。

目標・方針：文部科学省が推進するキャリア教育「起業体験学習」として、ものづくりやその販売活動を行う。「何を作るのか」「いくらで売するのか」「どのように売するのか」「どうすれば利益が出るのか」等を生徒たちに考えさせ、実際に商品を作って販売する。それらの活動を通して、生徒が他の友達のよさや自分のよさに気が付いたり、新しいことに挑戦し、やり切ったという達成感を味わったりすることで自己肯定感の向上を図る。

活動内容：地域の農業起業を行った方からの協力を得て、花の苗・野菜づくりを行い、販売活動を行った。

- ①地域起業家の育苗施設見学と起業家による講演会 ②模擬会社設立に向けての話し合い
- ③模擬会社設立（役職の分担、商品の決定）④商品づくり（パンジー・ビオラの苗、野菜の栽培活動）
- ⑤商品の販売会議、宣伝活動（チラシ・ポスター作り、学校ホームページによる情報発信）
- ⑥商品の販売活動（学校敷地内での販売活動、地域道の駅での販売活動）
- ⑦学習のまとめ（活動の振り返り、お世話になった方々へのメッセージボード制作）

活動の成果：花苗・野菜苗の栽培や販売活動等で保護者や地域の方と十分に関わる中で、コミュニケーション力が向上するとともに、地域や自然への愛着を一層深める機会となった。また、ものづくりや販売等を通じて、生徒が企画・運営を主体的に行うことで、課題の発見・分析を基に改善を図るなど、課題対応能力が高まった。生徒の達成感は大きく、やがてこの経験が自信へとつながっていくものと考え。

○自分たちが育てた花がきれいに咲くと、こんなにも誇らしい気持ちになるのだと驚いた。自分たちが頑張って作った花が人に買われて、大切に育てられるのだと思うと気持ちがいい。（生徒作文）

○起業体験学習を通して行動が変化した。知らない人に話しかけることが少し楽になった。また、人の話を聴くことも前よりできるようになった。（生徒作文）

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ・滑川市では、食育推進事業に力を入れており、これまでも技術・家庭科の授業で、市内小中学校の給食材料としての野菜を育ててきており、その経験が生かされた。
- ・地域の起業家だけでなく、地域の営農組合の方々や地域の道の駅で働く方々、野菜や苗を購入して下さった地域の方々との交流があり、地域との連携が活性化された。

